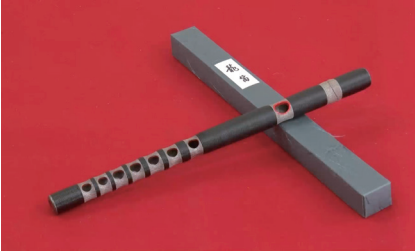


## 雅楽器類のお手入れ・保管方法について



本資料では、文化庁 邦楽普及拡大推進事業で貸与している雅楽器類のお手入れ・保管方法を解説します。  
正しいお手入れ・保管方法を身につけ、大切な楽器と長く付き合いたしましょう！

## 雅楽器類について学ぼう

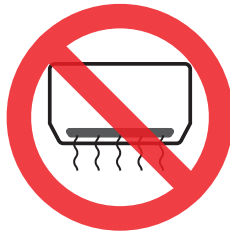
雅楽器類は、非常にデリケートな楽器です。  
ぶつけたり、落としたりすると、破損してしまいます。  
取り扱いには十分に気をつけて、正しいお手入れ・保管方法を身につけましょう。

### 湿気(水分)には要注意!



雅楽器類が濡れてしまったら、乾いた布で水分を拭き取り、陰干しをして乾かしてから保管してください。

### 空調\*が直接 当たる場所はNG!



寒暖差の激しい場所や湿度が高すぎたり、乾燥しすぎたりした環境は、雅楽器類にとっては大敵です。空調が直接雅楽器類に当たると、乾燥して傷んでしまうので、避けましょう。

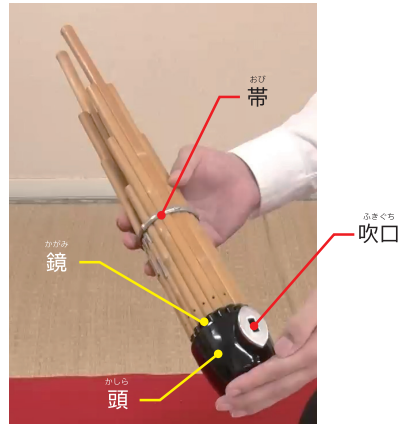
\*空調には、エアコンや扇風機、ストーブなどが含まれます。

### 直射日光が 当たる場所はNG!



空調と同じように、太陽の光が直接雅楽器類に当たると、乾燥して傷んでしまいます。直射日光が当たる場所での保管は避けましょう。

## 笙の各部位の名称



## 笙のお手入れ・保管方法

### 笙の演奏準備方法



#### 1. 電熱器などを使用して、笙を温めます。

笙を温めない状態で演奏すると、笙が壊れてしまいます。

演奏前には必ず、電熱器などを使用して、笙の下面に片手の指を添えて、もう一方の手で笙を回しながら、温めてください。

笙の下部を触れて、体温と同じ温度になっていれば演奏ができます。

なお、ストーブやドライヤー、こたつなどを使用して温めるのは厳禁です。

以上で、笙が演奏できる状態になりました。

### 笙のお手入れ・保管方法



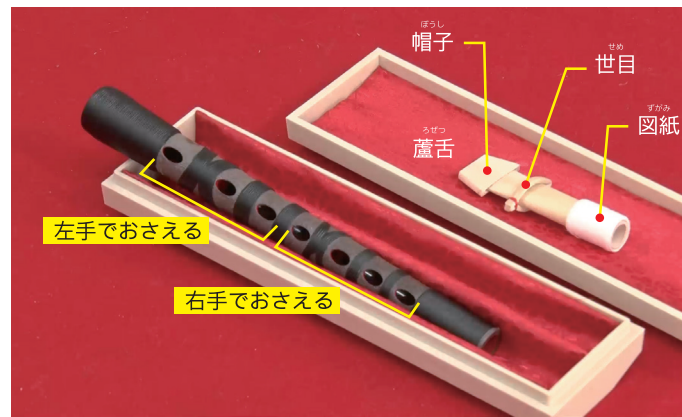
#### 1. 電熱器などを使用して、笙内部の水滴を乾燥させます。

演奏が終わった後にも、電熱器などを使用し、笙の内部を乾燥させてから保管してください。

乾燥させずに保管すると、水滴が残って、笙が傷んでしまいます。

以上が、笙のお手入れ・保管方法になります。

## 箏篋の各部位の名称



## 箏篋のお手入れ・保管方法

### 箏篋の演奏準備方法



1. 蘆舌(ろぜつ)は、お茶に浸した後、箏篋本体に差し込みます。  
箏篋を演奏する前に、人肌程度の温度のお茶を用意し、蘆舌全体を浸します。  
その際、蘆舌についている帽子は外してください。  
全体が湿ったのを確認したら、箏篋本体に差し込むようにしてください。

以上で、箏篋が演奏できる状態になりました。

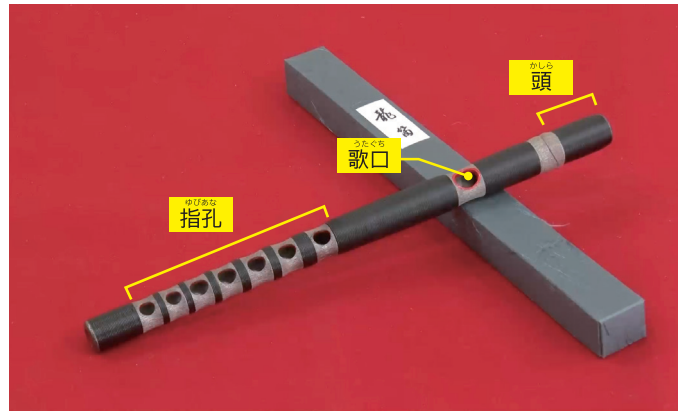
### 箏篋のお手入れ・保管方法



1. 箏篋本体から、蘆舌を外し、本体を自然乾燥させます。  
演奏が終わった後には、箏篋から蘆舌を外し、箏篋本体の管内を自然乾燥させてください。  
自然乾燥させる際は、写真のように、ケース等で傾斜をつけて置くようにしてください。

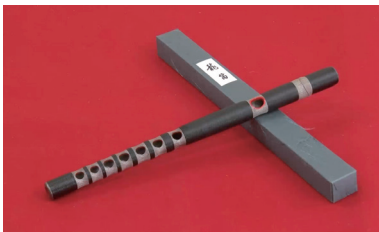
以上が、箏篋のお手入れ・保管方法になります。

## 龍笛の各部位の名称



## 龍笛のお手入れ・保管方法

### 龍笛のお手入れ・保管方法



#### 1. 龍笛の管内を自然乾燥させます。

演奏が終わった後は、龍笛の管内を自然乾燥させてください。

自然乾燥させる際は、写真のように、ケース等で傾斜をつけて置くようにしてください。

以上が、龍笛のお手入れ・保管方法になります。

### 雅楽器類のお手入れ・保管方法に関する注意点



不具合が発生しても、自分たちで補修や修理は、絶対にしないでください。

本資料に記載されている方法で、お手入れや保管をしても、雅楽器類に傷がついたり、付属品が破損してしまう可能性があります。

そうした破損を自分たちで補修や修理をすると、場合によっては、更なる事故等につながるおそれがあります。

不具合が見つかったら、まずは楽器店に問い合わせましょう。

本資料を使って、正しい雅楽器類のお手入れ・保管方法を身につけ、より長い期間、演奏を楽しめるよう、日々の取り扱いを怠らないよう、心がけてください。